

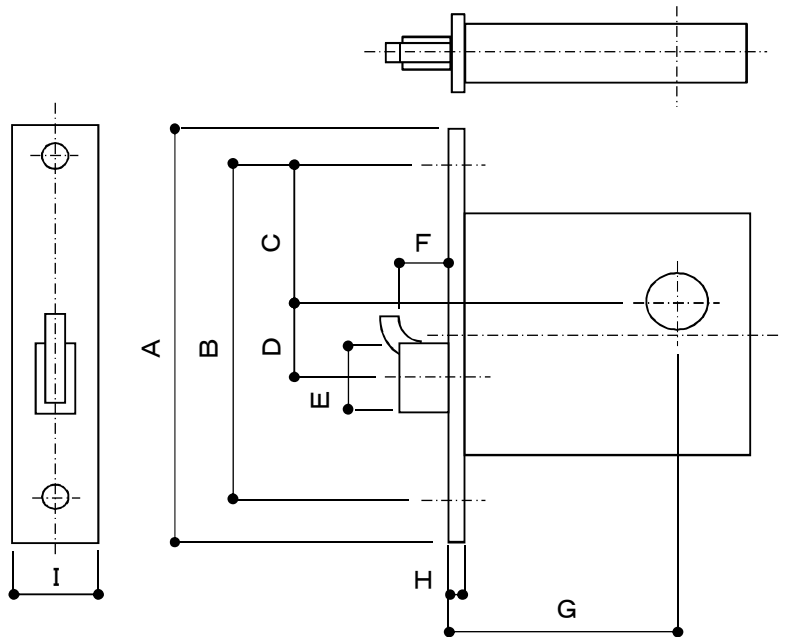
1. 対象部材

戸建住宅玄関ドア用本締錠

略称：CJK 錠

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。



- A : フロントの高さ
- B : ケースの取付けピッチ
- C : シリンダーの高さ位置寸法
- D : デッドボルトの高さ位置寸法
- E : デッドボルトの幅寸法
- F : 鎌部のチリ寸法
- G : バックセット
- H : フロントの厚さ
- I : フロントの幅

図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法					
	①	②	③	④	⑤	⑥
A : フロントの高さ	124	135	136	149	185	130
B : ケースの取付けピッチ	100	115	110	125	165	110
C : シリンダーの高さ位置寸法	36.5	43	37	36.5	39	37
D : デッドボルトの高さ位置寸法	27.5	26	30	39.5	32	30
E : デッドボルトの幅寸法	28	25		29	25	25
F : 鎌部のチリ寸法	13			15	13	15
G : バックセット	64	51	64		51	64
H : フロントの厚さ	4	4.5	4		4.5	4
I : フロントの幅	24.8 ≤ I ≤ 25					

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK”マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 対象範囲

一般的な本締錠を対象とし、防犯錠(CP錠)は対象外とする。

6. 解説

6.1 本締錠

ラッチボルトのないデッドボルトのみの錠。キーまたはサムターンで施解錠する。

6.2 取付について

部材のドア本体への取付は、M4皿小ねじを用いる。

6.3 標準(共通)化の部位について

ケース本体部の外形寸法については、フロント部で規定される“ケースの取付けピッチ”および“フロントの幅”より小さいことが明らかであることから、標準(共通)化の部位から除外した。

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記)専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。

8. 改訂履歴

8.1 2014年3月20日改訂

- ・ “7. 共通事項”を基準書記載内容改訂により記載
- ・ “5. 特記事項”掲載内容の一部を“6. 解説”に移動
- ・ 符号、書式の統一

8.2 2016年4月28日改訂

- ・ 対象製品名称、略称見直しによる改訂
- ・ 特記事項追記による改訂
- ・ 7.1寸法について記載内容改訂

8.3 2018年3月22日改訂

- ・ 基準書作成要領の改訂に順ずる改訂
- ・ “2. 標準(共通)化の部位”にH、I項追加
- ・ “3. 寸法・形状”標準寸法にH、I項追加
- ・ “3. 寸法・形状”標準寸法に⑥を追加
- ・ “5. 特記事項”に“5.1 対象範囲”を追加
- ・ “6. 解説”防犯錠(CP錠)に関する文章を削除
- ・ “6. 解説”本締錠に関する文章の変更
- ・ “6. 解説”に取付および標準(共通)化の部位についての文章を追加